

環廃対発第 1609141 号
平成 28 年 9 月 14 日

栃木県塩谷町長 見形 和久 殿

環境副大臣 伊藤 忠彦

指定廃棄物長期管理施設に関する詳細調査の実施に向けたお願いについて

指定廃棄物の処理促進につきまして、貴町には平素よりご高配を賜り、感謝申し上げます。

さて、詳細調査候補地の選定以降、貴町からこれまでいただいた文書について拝読いたしました。詳細調査候補地の選定結果の返上を表明されていることについては、貴町の皆様が、今年の豪雨による影響をはじめとして、様々な御不安や御心配を持たれていることの表れだと重く受け止めております。

しかしながら、今回の詳細調査候補地の選定は、栃木県知事及び貴職を含む県内すべての市町長が参加し、公開された市町村長会議において、数次にわたって議論を重ねてきた結果であり、環境省としてこの経緯を尊重する必要があります。

現在は、全国一律に整備されている既存の地図情報等を用いて詳細調査候補地の絞り込みを行うという一次スクリーニングが終わったのみの段階であり、今後、詳細調査により現地固有の情報を把握し、有識者会議での評価を経なければ、環境省として最終的な判断はできません。今年の豪雨による影響も含め、候補地としての適・不適を判断するため、詳細調査を実施させていただきたいと考えております。

あらかじめ建設することを決めた上で、詳細調査を行うものではありません。詳細調査の結果については、貴町の意向を十分に伺い、貴町の方々の納得が得られるように丁寧に御説明しながら、進めていく所存です。

この詳細調査の実施に向け、調査の内容や調査結果の評価の方法等について、貴町の皆様へ説明をさせていただきたく、貴職の御理解と御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。